

# 文教厚生委員会

11月6日 湘南ロボケアセンター  
11月7日 埼玉県宮代町

## 湘南ロボケアセンター

神奈川県藤沢市内にあり2013年「さがみロボット産業特区」及び「先進の医療福祉機器開発」を産学連携で推進する拠点として「特区」に位置付けられている。

地域医療の充実を求める住民の声により、平成15年（23億7千500万円）設立。「公益財団法人地域医療振興協会」が運営・指定管理医療・介護・子育てに対応している。

## 公設宮代医療福祉センター

「六花」

### 主な機能と役割

- ①最先端の介護・生活・自立支援ロボットの現状と今後の動向。
- ②自立歩行訓練に使用されているロボットスーツHALの機能説明と腰用タイプロボットの装着体験。
- ③ロボットスーツを装着してリハビリを行うトレーニングセンターの見学。
- ④介護・リハビリ、コミュニケーション、移動支援などで活躍する生活支援ロボット見学。
- ⑤先進的な企業誘致の検討。
- ⑥先端技術を備えた公設のリハビリセンター・トレーニングセンターの検討。

様々な理由で歩くことが出来なくなった人が、このロボットスーツでリハビリを行うことにより再び自力歩行が可能になる。人類にとって大きな希望になると感じた。

### ① 診療所

② 介護老人保健施設

③ 通所リハビリテーション

④ 訪問看護

⑤ 居宅介護支援

⑥ 町立みやしろ保育園

診療所は小児から高齢者まで「かかりつけ医」として総合的な初期治療・慢性疾患・予防医療を行い、入院設備を有する。検査などの短期入院から長期療養まで対応。

地域医療・福祉に必要なものが一カ所に集中していることで町民にとって利用しやすく心強い施設になっていると

感じた。

（小柳みゆき

議員）



# 総務建設委員会

11月14日 広島県神石高原町  
11月15日 岡山県勝央町

二つの町は中国地方の内陸部に位置した町である。人口減少を大きな課題としている。

神石高原町は、名のとおり高原地域で人口約9000人。人口減少に歯止めをかけることに力を注いでいた。主要な産業は農業と畜産、林業など。山間部の地域では、情報通信基盤の整備も課題で全町にケーブルテレビを配備している。若い世代の定住を目指し、子育て（1才児祝い金を20万円）、教育（小学校・中学校入学時各10万円）、医療に力を入れていたが、少子高齢化の問題は深刻であった。

勝央町は、大都市へのアクセスは良く、人口約1万1000人。70年代岡山県の単独事業として進められた工業団地の計画に町が参加をして推進した。

現在、29事業所2816人が働いている。工業団地の開発は高校生の地元企業への就職を促し流出を抑える役割を果たしているが、課題を残している。おかやまファーマーズ・マーケットも県の事業としてはじめ

た、「農村と都市との交流」を目的とした施設で、広さは195ha。施設内には農園、ふれあい動物園、直売所、宿泊施設などがある。平成9年度の運営としてはじまり15年には町の管理受託となる。現在は指定管理として民間業者に委託している。平成30年の来園者は47・5万人に達している。

（竹内 強 議員）



勝央町視察